

高野山真言宗
紫雲山菩提院
西光寺

四国三十三観音霊場
第2番札所
百八観音霊場
第41番札所

紫雲閣

題字 先住興源僧正筆

〒771-1702
徳島県阿波市
阿波町稲荷53
Tel 0883-35-2784
ホームページ
<https://saikouji.tokushima.jp>
発行所 西光寺
発行人 澤 善弘



大法事結願の座の様子

令和5年11月12日

大法事厳修！

西光檀家にとって最も大切な法会で
ある「大法事(だいほうじ)」が12年
ぶりに開催されました。

ご本尊阿弥陀如来さまのご開帳があ
り真言宗阿波結衆寺院12ヶ寺が本堂に
集い3座の法会を勤めてくださりまし
た。結衆外からは特別に山川明王院さ
まがご助法に駆けつけてくださり、護
摩の浄炎にて速疾成就をご祈念して頂
きました。

36年ぶり(前回は昭和62年)に卒塔
婆供養を募りましたところ、多くの施
主さまよりお申込みを頂きました。当
日は約100名の檀信徒の皆さまがご本尊
と結縁され、僧俗一体となって今は亡
きご両親、故人さま、ご先祖さまのご
供養を祈りました。

【阿波結衆寺院】

- 西福寺さま 願成寺さま 法満寺さま
 - 明王院さま 実相寺さま 大野寺さま
 - 切幡寺さま 光福寺さま 常慶寺さま
 - 聖幢寺さま 薬師寺さま 西光寺
- 【特別出仕寺院】
山川明王院さま

大法事執行について

御礼の挨拶



総代長 安友 勝明

去る令和5年11月11日
12日の二日間に亘り、稲荷の里菩提寺西光寺に於いて阿波市内真言宗12ヶ

寺のご住職のご協力を頂き、有難いご読経の中、おごそか厳肅なうちに12年に1度の大法事が執行出来ましたこと、これ以上の有難いことはありません。

ご住職をはじめ、ご詠歌の方、お隣のお手伝いの方ご協力のもと世話人一同一致団結して頂いた結果と心から厚く感謝申しあげます。

檀家の皆さまの本堂が

満席となるご参集を頂き
ご先祖さまのご供養が十分に出来たことと思えます。特に今回は卒塔婆供養をお願いしたところ、多数の方々のご賛同を頂き、大法事がさらに有意義になったと確信をしております。

最近の社会情勢はコロ

ナ対策が長期間となり、その影響等により、多年に亘りお家の繁栄と社会に貢献され天寿を全うされた方々の供養が家族葬となったり、永代供養や墓じまいとなったりする現象に将来が不安となり非常に残念であると痛く感じております。

このような時こそ、檀家の皆さんと護持会役員

の皆さんが一体となり、西光寺を護り盛り立てて欲しいとお願ひする次第であります。

今回の大法事執行にあたり、いかに護持会が必要であり重要であると痛感を致しております。さらなるご協力を再度お願い申し上げます。

おわりに、檀家の皆様
がご健勝でご多幸でありますようにご祈念申し上げます。御礼と致します。



参拝者が続々とご来院



最終打合せ(当日)

ユーチューブチャンネル
『西光寺阿波市』にて
大法事の様子を

配信中

動画配信サイトユーチューブのチャンネル『西光寺阿波市』にて大法事の法会の模様を配信しております。

本町川人建介さんがご撮影下さった映像を編集いたしました。

是非ともご覧くださいませ。





大勢の皆さまがご参拝



供養法(振鈴)導師



至心に祈られる参拝者



光明真言護摩供 山吹町日蓮さま



中山行道の様子



過去帳(簡文)の読み上げ 光福寺さま



仏事あれこれ

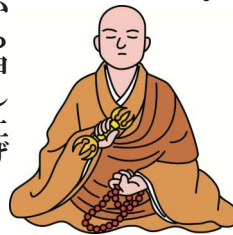
Q & A

Q

例えば、田舎に帰省した孫を祖父母が「よしよし」と頭を撫でてやったとします。「よしよし」には、可愛い、よく帰ってきたね、元気で成長するんだよ等の沢山の想いが込められています。

光明真言の意味を教えてください。

A



先ず結論から申し上げると、光明真言は意味は分からずとも「ありがた いご真言だ」と信心をもつてお唱えすべきです。

真言は和訳してしまえば功德が限定的になってしまうことから、極力訳さずに梵語に近い発音で唱えることが重視されています。

そもそも真言とは？

古代インドのヴェーダの宗教以来、真言（マントラ）や陀羅尼（ダーラニー）などの呪文の類は各種祭祀において、神々に直接的に呼びかける言葉や神々の讃歌として用いられてきました。民衆の間では「宇宙の神秘的な力が宿る言葉」として病を癒やし、毒を治し、福を招く万能の呪文として信じられてきました。

釈尊起源の初期仏教では呪力に依頼する必要がなかった為、真言や陀羅尼は治毒除病などに限定されて用いられました。しかし、インド人の心の深層部分に深く根を下ろしていた真言、陀羅尼への神秘的な効力に対する理屈抜きの信頼が仏教徒に浸透しないはずはなく

時代と共に仏教の中に流入定着していきました。

やがて、各種真言や呪法を説く雑部密教経典が成立し、この傾向を土台にして、日本に伝わった真言宗が根本とする『大日経』『金剛頂経』に基づく純粹密教が生まれま

した。純粹密教における真言は「全宇宙の神秘を体現する聖句」「全宇宙の神秘そのもの」という重い意味を回復していきます。やがて「真言」は弘法大師によって、三密

（さんみつ/身・口・意）のうちの口密（言葉のはたらき）として、我々が即身に全宇宙的な真理の世界に入っていくための「秘密の鍵」となったのです。



五輪塔（五輪塔は大日如来を表す）

光明真言の解説

【和訳】オーン 不空なるものよ、毘盧遮那よ、大印あるものよ、摩尼と蓮華よ、光明を放ちたまへ、フーン

オム 帰命（南無）

アホキヤ

（不空なるもの）

〃 不空成就如来 黒

ベイロシャウ

（毘盧遮那）

〃 大日如来 白

マカホゾラ

（大印あるもの）

〃 阿閼如来 青

マニシドモ

（摩尼と蓮華）

〃 宝生如来と阿弥陀如来

黄 赤

ジシバラ

（光明）

ウバツヤ マツ

放ちたまえ （成就）

※諸説あり

光明真言は五色の光（五智）大日・阿闍・宝生・阿弥陀・不空成就の五仏がつかさどる智慧）に照らされて転識得智（魂を智慧そのものにする＝成仏）に至らしめる真言です。五智は曼荼羅（マンドラ＝仏の世界）に広がるので自他を清め浄土となす真言と言えます。

光明真言は一切仏菩薩の総呪とされ、功德は無量無辺であり、わずかに2、3或は7遍聞けば一切罪障は消滅すると云われます。また、光明真言で加持した土砂は、生前に重罪を犯した亡者でも罪障消滅して成仏するとして古来より尊重されてきました。大法事はこの「加持土砂」をつくりだす法会でもあります。

参考文献『真言宗諸経要集解説』

阿波の光明真言信仰

西光寺のある森沢地区では7月と8月に光明真言を唱える風習が残っております。

昔は千遍お唱えしていましたが、次第に五百遍になり百遍になり、今では50遍お唱え致します。

この様な風習は阿波町全域にみられ、百万遍を達成した記念に「百万遍供養塔」が各所に建立されました。光明真言の絶大な功力を村全体が信じ頼ってきた証です。



光明真言百万遍供養塔(伊勢地区)



光明真言を唱える森沢地区の皆さま



森沢会堂のご本尊 地藏菩薩さま

光明真言のご利益
ご利益が説かれた光明真言和讃を紹介します。語句の詳細は分ならずとも光明真言の有難さを感じることが出来ます。仏前にて日々光明真言をお唱え頂ければ幸いです。

『光明真言和讃』
帰命頂礼大灌頂 光明真言功德力
諸仏菩薩の光明を 二十三字に蔽めたり

「おん」の一字を唱うれば 三世の仏にこそごとく
香華燈明飯食の 供養の功德具われり

「あぼきや」と唱うる功力には 諸仏諸菩薩もろともに
二世の求願をかなえしめ 衆生を助け給うなり

「べいろしゃのう」と唱うれば 唱うる我等が其のままに
大日如来の御身にて 説法し給う姿なり

「まかぼだら」の大印は 生仏不二と印可して
一切衆生をこそごとく 菩提の道にぞ入れ給う

「まに」の宝珠の利益には 此世をかけて未来まで
福寿意の如くにて 大安樂の身とぞなる

「ばんどま」唱うるその人は いかなる罪も消滅し
華の台に招かれて 心の蓮を開くなり

「じんばら」唱うる光明に 無明変じて明となり
数多の我等を撰取して 有縁の浄土に安き給う

「ばらばりたや」を唱うれば 万の願望成就して
仏も我等も隔てなき 神通自在の身を得べし

「うん」字を唱うる功力には 罪障深きわれわれが
造りし地獄も破られて 忽ち浄土と成りぬべし

亡者のために呪を誦じて 土砂をば加持し回向せば
悪趣に迷う精霊も 速得解脱と説きたまう

真言醍醐の妙教は 余教超過の御法にて
無辺の功德具われり 説くともいかで尽くすべき

南無大師遍照尊 南無大師遍照尊 南無大師遍照尊



西光寺護持会役員(総代世話人会) 大法事にて

西光寺護持会

役員

順不同
敬称略

名誉総代 中井邦武

総代長 安友勝明

総代 川人芳正

川人秀世

会計

川人秀世

川人建介

世話人

板東恭生

板東久志

新森秀明

須見友一

小山政昭

多田朝一

藤川善昭

中井計延

岡田俊武

岩城義人

枝澤利幸

川人永治

森友利雄

渡部浩之

森友一幸

川人良亘

坂東博明

坂東由美子

佐藤有里

香川保雄

枝澤祥司

原田晃仁

中野浩治

安友由衣

川人 忠

安友喜美子

枝澤安司

森友卓志

原田晃二

ご新任

ご退任

ご逝去

役員の方々は、檀信徒代表としてお寺の維持のためにご尽力くださっております。

主な役割は、お寺の方針を話し合う、ご本尊さまの守護御札、ご法事の案内をお届けする、護持会お初穂を集めること等お寺と檀信徒の皆さまのお世話を務めてくださっております。

皆さまのご理解とご協力に、心より御礼申し上げます。 西光寺護持会



檀信徒の皆さまへ 護持会・初穂料 ご協力をお願い

毎年（昭和56年より）檀信徒の皆さまにはお寺を護るために年会費をお納め頂いております。

世話人不在地区の皆さまは、お寺に直接お納めまたお振込み頂いております。ご不便をおかけ致しております。

西光寺を菩提寺としてご葬儀・ご法事を営まれる皆さまには、一檀家の役割として年会費のお納めにご理解とご協力を賜われますようお願い申し上げます。

檀家の皆さまのご理解とご協力に対し、心より御礼申し上げます。

お寺とお仏壇 について

「檀家である」ことは「菩提寺のご本尊をお迎えしている」ということです。ご家庭のお仏壇は西光寺そのものです。

毎朝、西光寺本堂から檀家の皆さまの息災延命家門繁栄ご先祖さまの安寧等をご祈念申し上げます。

お仏壇とお寺は繋がっています。日々に、お仏壇の前にお座りになられ手を合わせて、功德をお受け取り頂きますようお願い申し上げます。



護持会費の 使用目的

護持会費は、主に境内及び本堂等の建築物の護持・営繕のため、また12年に1度の大法事及び涅槃法要のために使用させていただきます。

本堂は築36年、山門は築180年を超え老朽化が進んでおり、将来の為に積立をさせていただきます。

初穂料の 使用目的

初穂料は、ご本尊さまと檀信徒の皆さまのご先祖さまに対するお供え料（線香、ろうそく、花、仏飯、供物等）として使用させていただきます。

ご納入について

○時期 毎年12月頃
○納入方法 ① 世話人さまにお渡しする
※世話人さま不在地区

○金額 ④ 振込 1万円
③ 現金書留
② お寺に持参
（護持会初穂の合計）

※JA合併に伴い振込先が変わりました（赤線部のみ変更となっております）

- ④振込先
- 金融機関名 徳島県農業協同組合
 - 金融機関コード 8252
 - 支店名 あわ市支店
 - カナ アワシ
 - 店舗コード 160
 - 貯金種目 普通預金
 - 受取人 宗教法人西光寺
 - 口座番号 3993798

護持会会計報告

毎年、西光寺役員総会（総代・世話人会）において会計報告を行っております。

護持会会計に関する疑問等がございましたら、地域の世話人さまへお問い合わせいただくか、世話人さまがおられない場合、直接西光寺までお尋ねいただきますようお願いいたします。

皆さまのご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

西光寺護持会



仏壇・仏具・神具・墓石・石材工事

ぶつだんのもり

お問い合わせ、ご注文は
☎(088)641-3222
■〒771-1155 徳島市応神町
西貞方字仁徳48-1 (応神店)



メガネ・補聴器・宝石・時計

ジュエリー サトウ

あなたの快適ライフを応援します。

阿波町大原11-1
☎(0883)35-2306



料理

魚宴

令和5年8月をもって閉店致しました。
皆さまには長年ご愛顧いただき、
本当にありがとうございました。

店主

各宗派葬儀・御法要・花環・籠盛等

セレモニーはやし

阿波町丸山3-2
☎ (0883)35-2073
FAX (0883) 35-2736

セレモニーホール

マルミヤ

(会館葬儀・自宅葬儀・寝台車・花輪)

市場町山野上字大西181-1
☎ (0883)36-7111
FAX (0883) 36-7035

徳島駅伝 ランナー募集中!!

市民代表として阿波市駅伝チー
ムで走ってみませんか?

ご興味おありの方は
住職までお知らせ下さい




ロープウェイで らくらく
ケーブルカーで 参拝

四国八十八カ所21番 四国八十八カ所66番
太龍寺 雲辺寺
こんぴら奥の院 四国八十八カ所85番
箸蔵寺 八栗寺



緩ならず、急ならず(所感)

本堂が声明の響きに包まれました。関係者の皆さまにはご多用中、ご本尊さまと檀信徒のために心身を尽してご奉仕をして頂きました。ご本尊さまに成り代わって厚く御礼申しあげます。自分ほどのようなご縁やお陰さまを頂いて生かされているか? この先をどう生きるべきか? など、全檀信徒が手を合わせて自らの「いのちの在り方」を考えるきっかけのひとつが大法事です。年忌のご法事も同じことでしょう。真剣に手を合わせる中で、ずっと私たちを見守って下さっている存在に気づき、生き方を顧みる。それこそが「供養」であるはず。 善弘拜

LINE 公式アカウント 友だち募集中




西光寺の
お徳な情報をお届けします。

6月15日 午前10時より ご本尊大祭 奉修

毎月15日にご本尊護摩供法会を開催しております。きたる6月15日は弘法大師ご生誕の吉祥日でもあり、有縁の和尚さまにご助法頂きます。

歴史ミステリー『邪馬台国と空海』を鈴木泰祥師(丹生谷萬福寺副住職)にご講演頂きます。ぜひご参拝ください。